

2012年3月30日

2012年4月より“被災地の低炭素型復興プロジェクトの支援” を通じて、カーボン・オフセットを再開します — 被災地産 J-VER 等活用復興支援を新たに環境省と連携 —

日本興亜損害保険株式会社（社長：二宮 雅也）は、2012年4月より被災地の早期復興と環境にやさしい地域づくりに貢献することを目的に、被災地の低炭素型復興プロジェクトなどの支援を実施します。支援する被災地の低炭素型復興プロジェクトについては、環境省が促進しているオフセット・クレジット（J-VER）※¹制度を活用した復興支援と連携して選定を行います。

弊社は、お客様の温室効果ガス排出量削減を支援するため、2008年9月より、損害保険業界でいち早く保険商品・サービスに関連したカーボン・オフセット※²を実施してきました（累計オフセット量は15,539t-CO₂・東京ドーム約426個分のスギ森林が1年間に吸収するCO₂に相当）。本取組みは、2011年5月1日から東日本大震災の被災地への義援金としての寄付に切り替え、保険契約を通してお客様とともに、被災された地域の皆様を支援してきました。

街、人、暮らしを、
支え続ける。

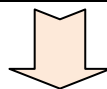
日本興亜
since 1892

このたびの被災地の低炭素型復興プロジェクトなどの支援は、この義援金を切り替えるもので、環境省の支援事業と同様に、低炭素型復興プロジェクトなどの実施により創出されるオフセット・クレジット（J-VER）を公募し購入することを通じてカーボン・オフセットを実施します。

1. 被災地の低炭素型復興プロジェクトの支援（カーボン・オフセットの再開）

◆現在の支援策（～2012年3月31日）

2011年5月1日から2012年3月31日までの期間、カーボン・オフセットを一時停止し、東日本大震災の義援金へ切り替えています（5月～1月まで9か月間の累計約7,200万円）。



◆新たな支援策（2012年4月1日～）

被災地の早期復興と環境にやさしい地域づくりに貢献することを目的に、被災地における低炭素型復興プロジェクトの支援を通じて、カーボン・オフセットを当面の間実施していきます。

■「低炭素型復興プロジェクト」とは・・・

被災地における間伐等の森林管理や木質バイオマスの活用等による低炭素社会の実現に貢献するプロジェクトで、被災地の雇用拡大や経済発展に寄与することができます。

本プロジェクトの実施により創出されるオフセット・クレジット（J-VER）の購入を通じてカーボン・オフセットを実施します。

※1 「オフセット・クレジット（J-VER）」とは・・・

国内のプロジェクトによる排出削減・吸収量をカーボン・オフセットに用いられるクレジットとして環境省が認証するものです。

※2 「カーボン・オフセット」とは・・・

日常生活などから排出される温室効果ガスについて、その全部または一部を他の場所で行われた排出削減プロジェクトなどにより実現された削減量を用いて埋め合わせる（オフセットする）ことです。

◆カーボン・オフセットの対象となるご契約または事故修理
・自動車保険のご契約の際に「Eco-Net 約款」または「Web 確認」をご選択いただいた場合
・自動車事故の修理の際に樹脂バンパーを交換ではなく補修していただいた場合、または修理の際にエコパーツ（リサイクル部品）をご利用いただいた場合

2. 低炭素型復興プロジェクト（被災地産 J-VER）の公募

- ◆ 低炭素型復興プロジェクト（被災地産 J-VER）の選定は、公募を通じて実施します。
- ◆ 被災地産 J-VER 等を活用したカーボン・オフセットは環境省の「オフセット・クレジット（J-VER）制度を活用した復興支援に係る事業者支援事業^{※3}」において促進されているものです。
- ◆ 実際の公募は同事業の受託者である株式会社リサイクルワン（社長：木南陽介）が実施します。公募の詳細については、株式会社リサイクルワンのニュースリリース (<http://www.co2-os.jp/>) をご参照ください。

公募に関するお問い合わせ：株式会社リサイクルワン 温暖化対策事業部 長井、野田
TEL 03-5774-0600（代表） E-mail cs-info@recycle1.com

【ご参考】低炭素型復興プロジェクトの選定について（弊社の考え）

低炭素型復興プロジェクトの選定にあたっては、以下のような視点で復興への貢献度等を評価します。

- 被災の程度 ●プロジェクトの推進による雇用の創出効果、地域経済の活性化
- 温室効果ガス削減・吸収以外の生物多様性保全・国土保全・水源涵養等の相乗効果（コベネフィット）

なお、本公募以外に特定被災地方公共団体に立地していない J-VER プロジェクトでも、復興支援につながるもの、被災者に資金が還流されるものも広くオフセットの対象として利用することも検討しています。具体的には以下のようなプロジェクトが想定されます。

- 特定被災地方公共団体で産出されたバイオマスを他の場所で活用し温室効果ガス削減を行うプロジェクト
- 風評被害により地域経済が落ち込む中、復興を推進している J-VER プロジェクト

※3 「オフセット・クレジット（J-VER）制度を活用した復興支援に係る事業者支援事業」とは・・・

平成23年度第3次補正予算 J-VER 制度を活用した CO₂削減・復興支援・節電等緊急支援事業のことで、環境省から株式会社三菱総合研究所が受託しています。株式会社リサイクルワンは、同所から被災地産 J-VER 等の販売促進関連業務の再委託を受けています。

以上

